



ファクトシート： 正式な苦情申立



JAPANESE

Dr. John D. Barge, State School Superintendent
"Making Education Work for All Georgians"

正式な苦情申立とは

正式な苦情申立は、障害を持つ子どもの保護者が、問題や意見の相違を解決するために利用できる、異議解決プロセスの一種です。正式な苦情申立は誰でも行うことができます。苦情申立は、「個別障害者教育法(Individuals with Disabilities Education Act (IDEA))」の違反について、行うことができます。苦情の内容は、生徒一人だけに影響する違反の場合もあれば、あるグループ内の生徒全員に影響する違反の場合もあります。また、学校全体の IDEA 違反に関する苦情申立の場合もあります。正式な苦情申立は書面で行わなければなりません。正式な苦情申立書は、苦情を申し立てる人が署名したものでなければなりません。

正式な苦情申立は、ジョージア州教育省(Georgia Department of Education (GaDOE))が調査を行います。

正式な苦情申立の手続きは、調停や適正手続きに代わるものではありません。苦情申立書が提出されると、調停による解決という選択肢も提示されます。同じ問題について適正手続きによるヒアリングもすでに要請されていた場合、適正手続きによる解決が決定されるまでは、苦情申立は保留されます。これにより、期間や苦情申立に対する決定書が交付されるまでの期間が変わる場合があります。

知っておくべき事柄：

- ✓ 正式な苦情申立は、当該苦情申立の日から **1 歴年以内**に起こった違反に関するものでなければなりません。
- ✓ 正式な苦情申立には、以下の情報が含まれていなければなりません。
 - 学校が IDEA パート B の規定に違反しているという説明。
 - IDEA 違反の申し立てを裏付ける詳細な事実。
 - 申立者の署名と連絡先情報。
 - 苦情申立が特定の生徒に対する違反に関する者である場合、以下の情報も含まれていなければなりません。
 - 生徒の氏名
 - 生徒の自宅住所
 - 生徒が通学している学校の名前
 - 問題の内容
 - その問題に関連する事実
 - その問題に対する解決策がわかっている場合は、解決策の提案
- ✓ 正式な苦情申立は以下の手順で行います。
 - 署名入りの苦情申立書を以下の GaDOE 担当部署に郵送します。
Director, Division for Special Education Supports and Services
Georgia Department of Education
1870 Twin Towers East
Atlanta, Georgia 30334-5010
 - または次のファクス番号にファクス送信してください。 404-651-6457
 - GaDOE に正式な苦情申立書を提出すると同時に、苦情申立書のコピーを学区(教育長または特殊教育ディレクター)に送付してください。
- ✓ 正式な苦情申立に対する調査：
 - GaDOE が苦情申立書を受け取ってから 60 暦日以内に、苦情申立が調査され、措置が講じられます。
 - 学区は、営業日 10 日以内に GaDOE および苦情申立者に対して回答書を送付することを要求されます。この回答書には、申立内容および裏付け書類に対する回答が含まれなければなりません。
 - GaDOE は、証人との面談、書類の調査、および(または)学校訪問等の調査を独立の機関に行わせることを要求することができます。
 - GaDOE の調査人が、IDEA の違反かどうかを決定します。
 - 保護者と学校には、すべての通信文書のコピーが送付されます。
- ✓ 正式苦情申立に対する決定書：
 - 保護者と学校には、各申立内容に対する決定書が送られます。この決定書には、事実と結論が記載されます。学区が違反を犯している場合は、決定書には苦情申立を解決するために必要な手続きが明記されます。



ファクトシート：
正式な苦情申立



Dr. John D. Barge, State School Superintendent
"Making Education Work for All Georgians"

JAPANESE

ご家族のための助言

- ✓ 以下のハイパーリンクで、[IDEA パート B](#)、[ジョージア州特殊教育州規則](#)、[GaDOE 正式な苦情申立](#)に関する詳細をご覧ください。苦情申立書内で法律や州の規則を引用する必要はありませんが、これらの情報についてよく理解しておけば、苦情申立書を作成する際に役立ちます。
- ✓ 苦情申立を行う前に、必ず地域の特殊教育ディレクターに相談して、状況を説明し、支援を求めてください。直ちに解決しなければならない問題である場合に、苦情申立を行うことを検討してください。お子様が活動に参加することができない状態である場合、これが学区から結果や回答を得られる最も早い方法かもしれません。お子様が危険にさらされている場合、直ちに適切な機関に通知してください。
- ✓ 苦情申立書を作成し、問題点について説明してください。
 - 具体的に書いてください。事実をリストアップしてください。事実には、IDEA あるいはGeorgia州規則のどの部分の違反であるかを説明しなければなりません。
 - 異議を唱える事柄について「誰が、何を、いつ、なぜ」を記載してください。
 - その事柄がいつ起こったかを説明してください。
 - その違反に責任を負う人の名前を記載してください。
 - 違反により生じた損害について説明してください。
 - 可能であれば、申し立てを裏付ける書類名を挙げてください。これらの書類としては、次のようなものがあります。「介入のピラミッド」データ、生徒サポートチーム(Student Support Team (SST))の各種用紙、特殊教育記録、お子様の評価のために使われたデータやレポート、手紙、Eメール、電話会話録音等の保護者と学校間でやりとりされた関係通信文書。
 - 決して原本は送らないでください。正式な苦情申立書には、必ず、これらの書類のコピーを添付してください。
 - 友人の方に苦情申立書を読んでもらい、苦情申立書内の「誰が、何を、いつ、なぜ」をご友人が理解できるかどうかを確認してください。もし、ご友人にとって理解できないのならば、調査人にもわからないということです。
- ✓ 調査における保護者の役割：
 - 保護者は調査人と直接会って、苦情申立について詳細な情報を提供するように求められる場合があります。
 - 関連性のあるすべての記録を準備し、持って行くようにしてください。苦情申立の主な内容の概要をまとめておいてください。
 - 調査人に対して、持っている具体的情報をすべて提供してください。
 - 平静さを保ってください。怒りやイライラは、調査人との対話に影響がでます。
- ✓ 解決策案の作成：
 - 提案する解決策が、生徒のためを中心と考えたものであるか、教育的に関連性のあるものであるかを確認してください。
 - 特定の教師や、特定のサービス提供者、あるいは試験的サービスの提供を求めてはいけません。
 - クリエイティブに、お子様のニーズを中心と考えてください。
 - 発生する可能性のある手続き上の問題に対応するための提案をしてください。

詳細な情報については以下にご連絡ください。

ペアレント ツー ペアレント オブ ジョージア(Parent to Parent of Georgia)

770-451-5484 または 800-229-2038

www.p2pga.org

Georgia Department of Education 特殊教育サービス支援局
(Division for Special Education Services and Supports)

404-656-3963 または 800-311-3627 に電話し、「特殊教育(Special Education)」に電話を回すよう伝えてください。

http://www.gadoe.org/ci_exceptional.aspx

Georgia Department of Education 実施マニュアル

http://www.gadoe.org/ci_exceptional.aspx?PageReq=CIEXCImpMan

(異議解決の章を参照してください。)

その他の情報源：学区の**特殊教育ディレクター (Special Education Director)** にご相談ください。